

令和4年6月9日

課 名 環境県民局環境保全課

担当者 課長 岡田

内 線 2916

令和4年度海洋プラスチック対策（プラスチック使用量削減等）・  
リーディングプロジェクト支援補助金の採択結果について

## 1 趣旨・目的

- 2050年までに瀬戸内海に新たに流出するプラスチックごみゼロを目指すため、今年度からの新規事業として、生活由来の海洋プラスチックごみ対策に資する先進的な取組を支援することとしている。
- 今般、本事業について公募を行い、応募のあった8件の中から、外部有識者を含めた審査会による審査により、予算の範囲内で、対象となる5件を採択したのでその内容を報告する。

## 2 概要

## (1) 対象事業

- 「GREEN SEA 瀬戸内・ひろしまプラットフォーム」の参画企業と連携し、2020年代前半のうちに県内又は本県を含む地域で社会実装することを目指すもので、ワンウェイプラスチックの削減、プラスチック代替素材の利用促進、プラスチック資源の3R（リデュース・リユース・リサイクル）及びリニューアブルの拡大・高度化等を推進する事業

【補助率1/2, 上限8,000千円/件】

## (2) 事業内容（採択事業の概要）

（単位：千円）

	採択者名（五十音順）	事業概略	交付決定額
1	(株)シンギ	<b>【お好み焼容器の代替素材化によるワンウェイプラスチックの削減】</b> 植物（サトウキビ）由来の「バガスモールド製お好み焼容器」を食品メーカーとの連携により開発し、お好み焼店や小売店へ導入するとともにメディア等との連携による普及促進活動を実施	7,885
2	(株)ダイセル	<b>【海洋生分解性プラスチックによるワンウェイプラスチックの削減】</b> バイオマスかつ海洋生分解性を有する酢酸セルロース樹脂を使用したカトラリーや宿泊アメニティー等、プラ新法指定12品目対象品への採用推進、使用済製品の回収及び回収物のカキ養殖パイプ等への再利用検討等	5,479
3	三菱ケミカル(株)	<b>【飲料ラベルの水平リサイクル実現に向けた資源循環モデルの構築】</b> 産学官民連携による、飲料ペットボトルの3分別回収の促進やプラスチック資源のリサイクルに対する啓発活動の実施、飲料ラベルの水平リサイクル実現に向けた調査・検証等	8,000
4	ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング(株)	<b>【プラスチック空容器回収プログラム等による資源循環モデルの構築】</b> 「UMILE（ユーマイル）」（※ポイント還元）を活用し、プラスチック空容器（ユニリーバ自社製品だけでなく、培養土の袋、お茶の袋等）の回収及びリサイクルを軸とした産官学・異業種連携による地域資源循環モデルの構築	8,000
5	Loop Japan 合同会社	<b>【容器再利用によるワンウェイプラスチックの削減及び3Rの拡大・高度化】</b> 従来、使い捨てされていた日用品や食品などの容器等を耐久性の高いものに変え、繰り返し利用を可能にする循環型ショッピングプラットフォーム「Loop」を県内小売店舗で展開。 （消費者はデポジット（保証金）を払いリユース容器入りの製品を購入し、容器を返却するとデポジットが戻る仕組み）	2,124
合計			31,488

### 3 今後の対応

- 採択事業については、プラットフォームにおいて、企業間や市町との連携や県民への広報など、円滑に事業が推進するよう、継続的な支援を行う。
- 採択事業の実施により得られた成果をプラットフォーム全体で共有し、サプライチェーン全体へ広く波及させるとともに、効果的な情報発信を行って県民への意識醸成につなげていくことで、海洋プラスチックごみ削減に向けた取組を一層加速化させる。

#### <主なスケジュール>

- ・令和4年8月～10月 プラットフォームで支援しながら随時事業開始、県民等へ広報
- ・令和5年3月～4月 事業成果をプラットフォーム会員企業等で共有、情報発信